

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

**DERWENT-** 1999-171245

**ACC-NO:**

**DERWENT-** 199915

**WEEK:**

*COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD*

**TITLE:** Window display control method for sentence editor - involves switching display between parent and child windows using toggle switch, when sentence chosen for editing is accessed

**PRIORITY-DATA:** 1997JP-0173566 (June 30, 1997)

**PATENT-FAMILY:**

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11024646 A	January 29, 1999	N/A	005	G09G 005/22

**INT-CL (IPC):** G06F003/14, G06F017/21 , G09G005/08 , G09G005/14 , G09G005/22

**ABSTRACTED-PUB-NO:** JP 11024646A

**BASIC-ABSTRACT:**

**NOVELTY** - When sentence editing is carried out, three child windows is displayed at the click of the mouse's right button. The size of the child window is adjusted such that they do not overlap those displayed in the edit bar of the parent window, during specific execution. A toggle switch switches the display of child and parent windows. **DETAILED DESCRIPTION** - An **INDEPENDENT CLAIM** is included for sentence editing method.

**USE** - For sentence editor used in information processors.

**ADVANTAGE** - Simplifies editing as it is performed just by moving the cursor, thereby improving operativity. **DESCRIPTION OF DRAWING(S)** - The figure shows the flowchart explaining the cursor movement during sentence editing.

---

**Basic Abstract Text - ABTX (1):**

**NOVELTY** - When sentence editing is carried out, three child windows is displayed at the click of the mouse's right button. The size of the child window is adjusted such that they do not overlap those displayed in the edit bar of the parent window, during specific execution. A toggle switch switches the display of child and parent windows. **DETAILED DESCRIPTION** - An **INDEPENDENT CLAIM** is included for sentence editing method.

**Derwent Accession Number - NRAN (1):**

1999-171245

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-24646

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月29日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 9 G 5/22

6 3 0

G 0 9 G 5/22

6 3 0 Z

G 0 6 F 3/14

3 5 0

G 0 6 F 3/14

3 5 0 A

3 6 0

3 6 0 D

17/21

G 0 9 G 5/08

S

G 0 9 G 5/08

5/14

Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平9-173566

(22) 出願日

平成9年(1997) 6月30日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 白井 弘幸

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

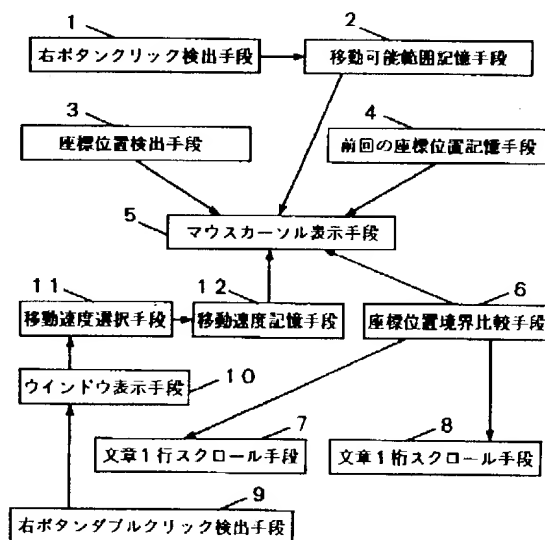
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 文章編集方法及び文章編集装置

(57) 【要約】

【課題】 平易な操作で迅速にカーソルを移動できる文章編集方法及び文章編集装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と文章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能を出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集方法であって、特定のイベントが発生したときに、文章編集画面のサイズを、スクロールバー及び編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と前記文章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと前記編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能と呼出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集方法であって、特定のイベントが発生したときに、前記文章編集画面のサイズを、前記スクロールバー及び前記編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替えすることを特徴とする文章編集方法。

【請求項2】前記特定のイベントは、マウスの右ボタンのシングルクリックであることを特徴とする請求項1記載の文章編集方法。

【請求項3】マウスカーソルが、前記文章編集画面内にあるときは、その位置を示すマウスカーソルを表示し、前記文章編集画面の上下方向の範囲外に出ようとするときは、出ようとする方向へ文章をスクロールさせることを特徴とする請求項1記載の文章編集方法。

【請求項4】マウスの右ボタンをダブルクリックすることによって、マウスカーソルの移動速度を調節するウィンドウを表示し、移動速度を速くする場合は、マウスカーソルが一定時間内に移動した移動距離を拡大させ、移動速度を遅くする場合は、マウスカーソルが一定時間内に移動した移動距離を縮小させることを特徴とする請求項1記載の文章編集方法。

【請求項5】親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と前記文章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと前記編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能と呼出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集装置であって、マウスの右ボタンがクリックされたことを検出する右ボタンクリック検出手段と、前記右ボタンクリック検出手段がマウスの右ボタンがクリックされたことを検出した際、前記スクロールバー及び前記編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替えされる文章編集画面のサイズを記憶する移動可能範囲記憶手段とを備えていることを特徴とする文章編集装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、各種情報処理装置において文章編集時に使用される文章編集方法及び文章編集装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の文章編集では、目的とする文章編集位置が、文章編集画面から見えない近接領域（現在の文章編集画面からわずかに外れた領域）にある場合に

も、上下及び左右のスクロールバーを使用して、目的とする文章編集位置に移動するようになっており、移動のために時間を多く要する。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】そこで本発明は、平易な操作で迅速にカーソルを移動できる文章編集方法及び文章編集装置を提供することを目的とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の文章編集方法は、親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と文章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能と呼出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集方法であって、特定のイベントが発生したときに、文章編集画面のサイズを、スクロールバー及び編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替えするものである。

【0005】この構成により、平易な操作で迅速にカーソルを移動できる文章編集方法を実現できる。

## 【0006】

【発明の実施の形態】請求項1記載の文章編集方法では、親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と文章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能と呼出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集方法であって、特定のイベントが発生したときに、文章編集画面のサイズを、スクロールバー及び編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替えするものである。

【0007】請求項2記載の文章編集方法では、特定のイベントは、マウスの右ボタンのシングルクリックである。

【0008】請求項3記載の文章編集方法では、マウスカーソルが、文章編集画面内にあるときは、その位置を示すマウスカーソルを表示し、文章編集画面の上下方向の範囲外に出ようとするときは、出ようとする方向へ文章をスクロールさせる。

【0009】請求項4記載の文章編集方法では、マウスの右ボタンをダブルクリックすることによって、マウスカーソルの移動速度を調節するウィンドウを表示し、移動速度を速くする場合は、マウスカーソルが一定時間内に移動した移動距離を拡大させ、移動速度を遅くする場合は、マウスカーソルが一定時間内に移動した移動距離を縮小させる。

【0010】請求項5記載の文章編集装置では、親ウィンドウ内に、文章編集過程を表示する文章編集画面と文

章編集画面の内容をスクロールさせるスクロールバーと編集画面内に表示された文章の全部又は一部に対して特定の編集機能と呼出す編集バーとの少なくとも3つの子ウィンドウを表示できるように構成した文章編集装置であって、マウスの右ボタンがクリックされたことを検出する右ボタンクリック検出手段と、右ボタンクリック検出手段がマウスの右ボタンがクリックされたことを検出した際、スクロールバー及び編集バーのうち現在親ウィンドウ内に表示されているものと重ならないサイズと、親ウィンドウそのもののサイズとにおいて、トグル切り替えされる文章編集画面のサイズを記憶する移動可能範囲記憶手段とを備えている。

【0011】これらの構成により、文章編集位置の移動に必要な操作を極力削減して、迅速な移動を行うことができる。

【0012】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図1は本発明の一実施の形態における文章編集装置の構成ブロック図である。

【0013】図1において、1はマウスの右ボタンがクリックされたかどうかを検出する右ボタンクリック検出手段、2は、右ボタンクリック検出手段1で右ボタンがクリックされたとき、マウスカーソルの移動可能範囲を、文章編集画面及びスクロールバー、編集バーなどを含んだ親ウィンドウ全体と、これらのバーに重ならない文章編集画面とにおいて、トグル切り替えした情報を記憶する移動可能範囲記憶手段、3は文章編集画面内での現在のマウスカーソル位置を検出する座標位置検出手段、4は、前回のマウスカーソル位置を記憶する前回の座標位置記憶手段、6は、マウスカーソルの座標位置が移動可能範囲の境界に到達したかどうかを比較する座標位置境界比較手段、7は、文章を上下に1行スクロールし表示する文章1行スクロール手段、8は、文章を左右に1桁スクロールし表示する文章1桁スクロール手段、9は、マウスの右ボタンがダブルクリックされたかどうかを検出する右ボタンダブルクリック検出手段、10は、マウスカーソルの移動速度を選択するためのウィンドウ表示手段、11は、移動速度を選択するための移動速度選択手段、12は、移動速度選択手段11で選択された移動速度を記憶する移動速度記憶手段、5は、移動可能範囲記憶手段2に記憶されたマウスカーソルの移動範囲内で、座標位置検出手段3により検出された座標情報と、前回の座標位置記憶手段4に記憶された前回のマウスカーソル位置の座標情報との差分を、移動速度記憶手段12における移動速度に応じたマウスカーソル表示位置に変換し、マウスカーソルを表示するマウスカーソル表示手段である。

【0014】図2は本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動範囲を変更するフローチャートである。ステップ1において、一定時間毎にマウスの右ボタンがクリックされたかどうかを検出し、右ボタンのクリ

ックが検出されたら、現在のマウスカーソルの移動範囲の情報を反転し、移動可能範囲記憶手段2に記憶させる(ステップ2)。

【0015】図3は本発明の一実施の形態における文章編集画面内でのマウスカーソルの表示及び文章のスクロールのフローチャートである。まず、ステップ3にて、一定時間毎に、マウスカーソルの座標位置を取得し、ステップ4にてステップ3で得られた現在のマウスカーソルの座標位置と前回のマウスカーソルの座標位置の差分をバッファA(図示せず)に一時記憶する。また、ステップ5にて、ステップ4で得られた差分情報をマウスカーソルの移動速度情報で割った前回のマウスカーソルの座標位置からの距離の変化量をバッファB(図示せず)に一時記憶する。そして、ステップ6にて、ステップ5で得られた変化量に前回のマウスカーソルの座標位置を加えた今回表示すべきマウスカーソルの位置情報をバッファC(図示せず)に一時記憶する。

【0016】そして、ステップ7にて、ステップ6で得られた今回表示すべきマウスカーソルの位置情報がマウスカーソルの移動可能範囲の境界を超えたかどうか判定し、超えていなければ、ステップ8にて、前回のマウスカーソルの座標位置にステップ6で得られた今回表示すべきマウスカーソルの位置情報を設定し、ステップ9にて、ステップ8で得られた今回表示すべきマウスカーソルの位置情報を元に、マウスカーソルを表示する。

【0017】一方、超えていれば、ステップ10にて、ステップ7でマウスカーソルの移動可能範囲の境界を超えた位置情報が上下方向の移動可能範囲の境界を超えたものかどうかを判定し、移動可能範囲を超えていれば、ステップ11にて、文章全体を1行上下方向にスクロールさせる。一方移動可能範囲を超えていなければ、ステップ12にて、文章全体を1桁左右方向にスクロールさせる。そして、ステップ13にて、マウスカーソルが移動可能範囲の境界を超えた方向の境界上にマウスカーソルの位置情報をバッファCに一時記憶する。

【0018】図4は本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動速度の選択フローチャートである。まず、ステップ14にて、一定時間毎に、マウスの右ボタンがダブルクリックされたかどうかを検出する。検出されると、ステップ15にて、マウスカーソルの移動速度を調節するウィンドウを開き、ステップ16にて、マウスカーソルの移動速度をマウスにより選択させ、選択された移動速度を移動速度記憶手段12に記憶させる。

【0019】図5は本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動可能範囲のトグル切り替えの説明図である。図5の左側では、文章編集画面S1は、親ウィンドウのうち、編集バーS2、スクロールバーS3と重ならないように設定されている。これが、トグル切り替えされると、図5の右側に示すように、文章編集画面S1が、編集バーS2、スクロールバーS3を含むエリアま

5

で拡大され、親ウィンドウそのもののサイズとなる。

【0020】図6は本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動速度の変更説明図である。図6において、Dは一定時間内に变化した実際のマウスの移動距離を表し、Eはマウスカーソルの移動速度を遅くする場合に、一定時間内に実際にマウスカーソルが变化した距離よりも短い変化の距離として割り当てた移動距離を表し、Fはマウスカーソルの移動速度を実際のマウスの移動距離に割り当てた移動距離を表し、Gはマウスカーソルの移動速度を速くする場合に、一定時間内に実際のマウスカーソルが变化した距離よりも長い変化の距離として割り当てた移動距離を表している。

【0021】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成したので、平易かつ簡単な操作により、文章編集位置を迅速に変更でき、文章編集の操作性を向上できる。

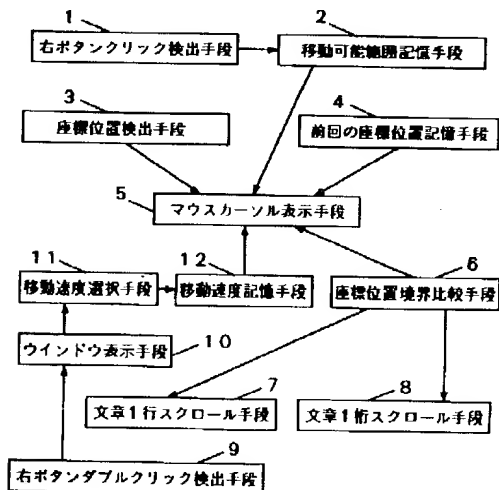
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態における文章編集装置の構成ブロック図

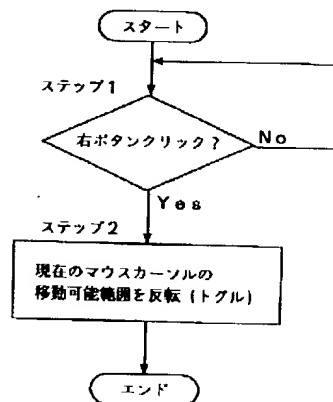
【図2】本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動範囲を変更するフローチャート

【図3】本発明の一実施の形態における文章編集画面内

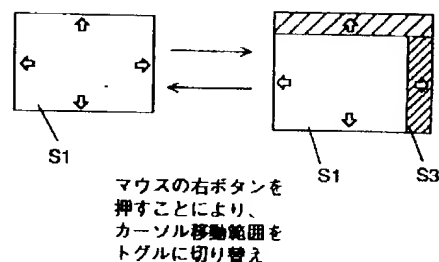
【図1】



【図2】



【図5】



6

でのマウスカーソルの表示及び文章のスクロールのフローチャート

【図4】本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動速度の選択フローチャート

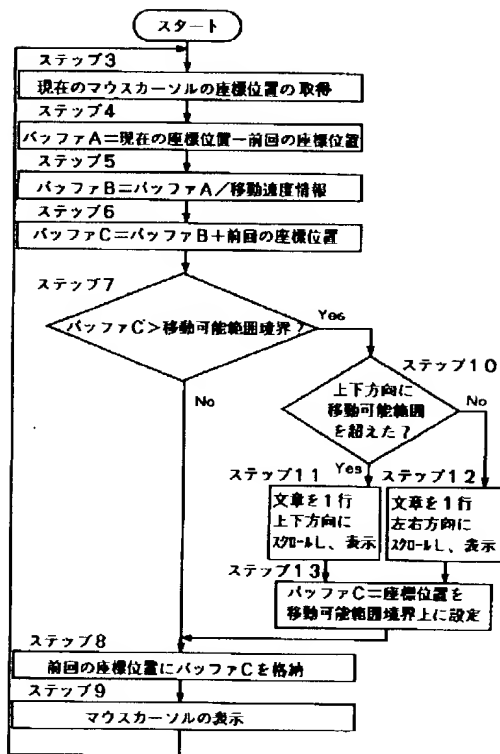
【図5】本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動可能範囲のトグル切り替えの説明図

【図6】本発明の一実施の形態におけるマウスカーソルの移動速度の変更説明図

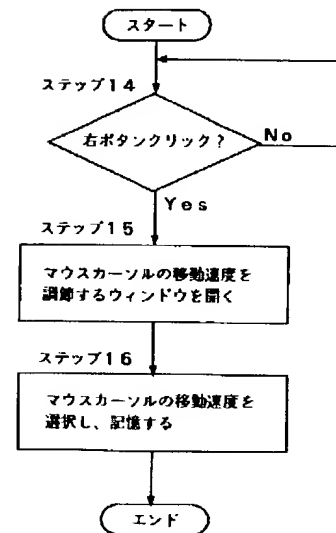
【符号の説明】

- 1 右ボタンクリック検出手段
- 2 移動可能範囲記憶手段
- 3 座標位置検出手段
- 4 前回の座標位置記憶手段
- 5 マウスカーソル表示手段
- 6 座標位置境界比較手段
- 7 文章1行スクロール手段
- 8 文章1桁スクロール手段
- 9 右ボタンダブルクリック検出手段
- 10 ウィンドウ表示手段
- 11 移動速度選択手段
- 12 移動速度記憶手段

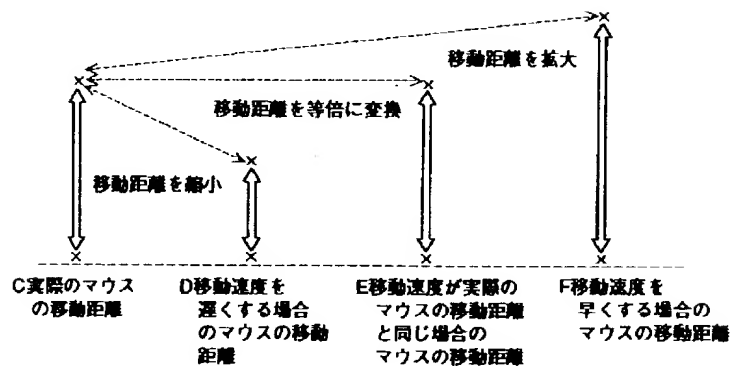
【図3】



【図4】



【図6】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G09G 5/14

識別記号

F I

G06F 15/20

564G